



BRAND NEW COLOR



ご注意:この本は成人向けです。18歳未満の方は購読の方はご勘弁下さい

あふ…聖上…ん



トウカ、なにも  
無理して飲む  
ことはないぞ…

あ、その…某  
聖上のお子  
を授かりたく思…



…これを飲んでも  
孕みはしないぞ？

誰から聞いたんだ  
そんなこと…

へ？



カァルラァァァァ!!



よくも某を  
たばかったな



口で精を受けても  
意味無いらしい  
ではないか!



あれは…あなたの  
ためを思つての  
ことですよ



...



真の方法とは  
あなたが思う  
ものよりも  
ずんと――

辛く苦しい  
ものなのですわ



それは……激しい  
羞恥と痛みを  
伴う行為

相当の愛情と  
覚悟が無ければ！  
とても耐えられるもの  
ではありませんのよ

そ、某はすでに聖上へ  
この命を捧げた身ッ！

あの方の  
ご寵愛を頂く  
ためならば

どのような  
困難も障害とは  
成り得ぬッ！



それほどの意志  
わかりましたわ  
教えましょう

今より準備して  
よろしいのかしら

頼むッ





お前にしては  
珍しい—



失礼：  
致します

トウ方か：昨夜は  
来なかったな



某は…

聖上…



たけふ



某は本気です

型上には…  
某のすべてを

見て…知って…  
愛して頂きたい  
のです…っ

4/5

またか…  
誰が吹きつけ  
てるのか…

疑わしいのは  
ひとりしか  
いないがな…

本当にいいのか  
…トウカ

…はは

シキ  
シキ



ん…う

ふう…う  
ううんん！



あ…う



ひっ

ああ…

ああ—あ  
熱うう…ツ！





うわ…こんな  
すんなりと…

相当  
慣らしないと  
こうは…



人…人…  
あ…あ…あ

はう…

あ…あ…あ

あは

聖上お…ッ

きょ、気持さ…  
きもちいい…





すごいよ…  
トウカの中  
絡みついて…

あひッ  
ああ

…りがた…き  
しあ、あッ

しあわ…  
あッ！ああん

す  
す

そろそろ  
お…出すぞ  
トウカッ

どう…ぞ  
なか、中にッ

ああ…来て…来てるぅー！

ビュッ  
ビュッ

あ…  
ビュッ

だ、大丈夫か？  
トウカ

はあ

はあ

…はあ

あ…いえ  
なんだかとても  
…しあわせで…

ビュッ

…私も

トウカの中は  
すごく居心地が  
よかった

また…いいか？

は、はい

聖上の…  
御心のままに

そういう  
言い方は—

あ

くちゅ

—好かないな

あ！っひあああ〜っ

ガッ



あつ、やあ  
そこッ強くしたら  
…あつあああツ

トウカは…  
可愛いな

お…おああ!  
あん、あんっ

ハイハイ

ズズ



あ、いっつ

ああん

お…ひいっ

ひん…ひんひん

ギギ



いんごうごう……ッ!!

う……お!

ククッ  
ククッ

ククッ  
ククッ



どうして…  
あんなこと  
したんだ?

なあ  
カルラ

全く、トウカに  
妙なコトを  
吹き込んで！

あ

営みのさなかに  
他の女性のことなど  
！無粋ですわ！よ

よろしいでは  
ありませんか

あれほどの  
戦力となる者

子を宿し！  
いくさ場へ  
向かえないなど

——損失ですわ  
今はひとりでも！  
あるじ様に命を懸ける  
者が必要ですもの！



ふふ…それで  
よろしいのですわ…

あるじ様は  
正道を歩むべき

汚泥に  
まみれるのは…  
私の役目ですもの

…私はここまで  
達観していない

クワッ

んっ



あ…あるじ様の  
モノである…  
ああ…私の…っ

あはっ

んっ

…カルラ、は  
いいのか？  
それで…

んっ





私をこんな  
カラダにしたのは  
あるじ様でしょう？

…あじ

…お前も  
…言多い！

あ  
♥



まったく…  
不思議な方



お…おひい

お…あああ

いく…いくっ！ああ  
お、お尻イくううツ！

あああ…あるじ様あ…ツ！

私は…ただ  
あなたの幸せを  
願って止まない

今はその零れた  
ひとかけらで  
満たされる

あなたほなんて  
屈心地の良い  
場所なのでしょう

わ

カルラ貴様ああ…  
某の聖上と…聖上とおお

…実際ここは  
飽きませんしね♪



ああ……ダメでナハクオロ……  
そんなにしたら……あ  
やあ……ん

せ……責任として……  
全部飲んで……

どね初め乱してor毎度どね、ええあです。

今回、文章はこけいしか無いんですよ〜と…  
またもや構成は滅茶苦茶。  
今回はエロッチーにおんりーで押そうかと思ったんですが、  
なんだかんだで変にひとつのお話にしちゃいました。  
自分が好きな、「こいつのエンディング後とかを勝手に想像」アレンジ、  
脳内補完ってやつですかね。  
まあ、描きたいことが多いのに対してページ数や時間を考えるといろいろ  
詰めこみすぎたり、照け足になることがあるんですが、まさに今回がそれ…  
あとは自分があまり好きでない「女心を描く」ことを微妙にやってしまったので  
ちいっとなんか…女心なんてものがオレにわかるわけないもん(泣)

たおれおの、良かったですねえ〜おえ?

多分、ファンタジーと歴史モノ好きには堪らないと思うんだけど。  
あ、それと花の層次好きに割それ〜まいエピソードが多いデスよ?  
ピックアップしようと思ったらスペースがあんまり無いでやんの…  
ちなみに、キョウはカルラ・ウルト・ウカが好きですね…ってこの本のまんまか、でも、皆オイシイ。

このゲームの話として、カルラとウルトの関係があるわけなんですけど—  
どうなんでしょうね。なんかアヤシイのでレズィーナを関係だつたり〜と妄想、ダメ?  
それや、カミユが夜な夜なアレなのは、ハクオロという存在を求めてやってることじゃ  
ないのかな?…結構謎が多いままなんですよね…裏設定多いし、GPMRはどじりないけど、

くを、スペースが…、ともかく、少しでも楽しんで頂ければ幸いです。

本当にここを出るのですか  
ミカルラ

ええ…

あなたの可愛い声を  
聞けなくなるのは  
残念ですけど

うん

あーん

ふああ！カルラ  
おもしろい  
もつとお

ん

ああ〜ツいい、素敵

ふふっ

ウルト、コレの心地はどじや？

あるじ様と同じ大きさですわよ

すごいッ！あゝあ  
気持ち良いのお  
ハクオ口良いッ

なんだか  
始けますわ

んっ

んっ





私も良かった  
ですわ…

はあ

すごい感じ方  
でしたわね

あるじ様に相当  
仕込まれたの  
ではなくて？

それだけ関係が  
あつたなら—  
子を授かっていても  
不思議ではないですわね

そ、それが…  
その、えっと

おああ…ダメ…っ  
出るう！出ますうッ

ハクオ口様あ

いぐう

出ちゃ…

あまり精を  
頂く機会が  
なくて…

おお出る…ッ  
ウルトのおっぱい  
気持ち良いよ

うふふ

私のおっぱい…  
存分に狙って  
くださいわね…



こんな姿…  
皆が見たら  
どう思うか

い…いやあ…

あ…温かい…

あああゝッ  
ご主人様あ！

あつた…あつたお  
あつた…あつたお

こ、これは  
なかなか！







あなたと  
同じ…

少しやり方が  
違うだけですわ

お互い

難しいことを  
成そうとして  
いるのですね

そういえば—  
オボロもここを  
去るようですわよ

あの子を…  
手放すのは惜しい  
のではなくて…?

ユズハの生きた証—

いいえ…

あの子は決して  
私のものには  
できませんもの



では……また  
会いましょう

……お元気で

それを聞いて  
安心しましたわ

……



カルラには  
敵わない

私に……  
あの子を諦めると  
念を押していった

私が……簡単に  
あの子を  
手放すはずはないと

その通り……  
手放したいわけが  
ないのだ

あの子が  
いなくなったら

私にはなにも  
残らない

私には  
あの子を感じ  
ずべが残らない

あの子が  
私に残した感触など

熱と共に  
いつかは消えてしま  
うのだらう

—ここにいるのは

手の届かない  
遠く離れたぬくもりを

白らのものにしたいと  
もがいている  
浅ましい生き物…

忘却してゆくことを  
ただただ恐れている  
弱い生き物…

ありふれている筈の  
小さな幸せを求めている  
ひとりの…女なのだ

あのひとが  
愛した月…

思えばそれも  
頷けること…

偉大なる存在  
でも、私にとっては…

…この感じ

この感じは  
…まさか

姫様？

ど、どこかに  
行かれますので？

バツ

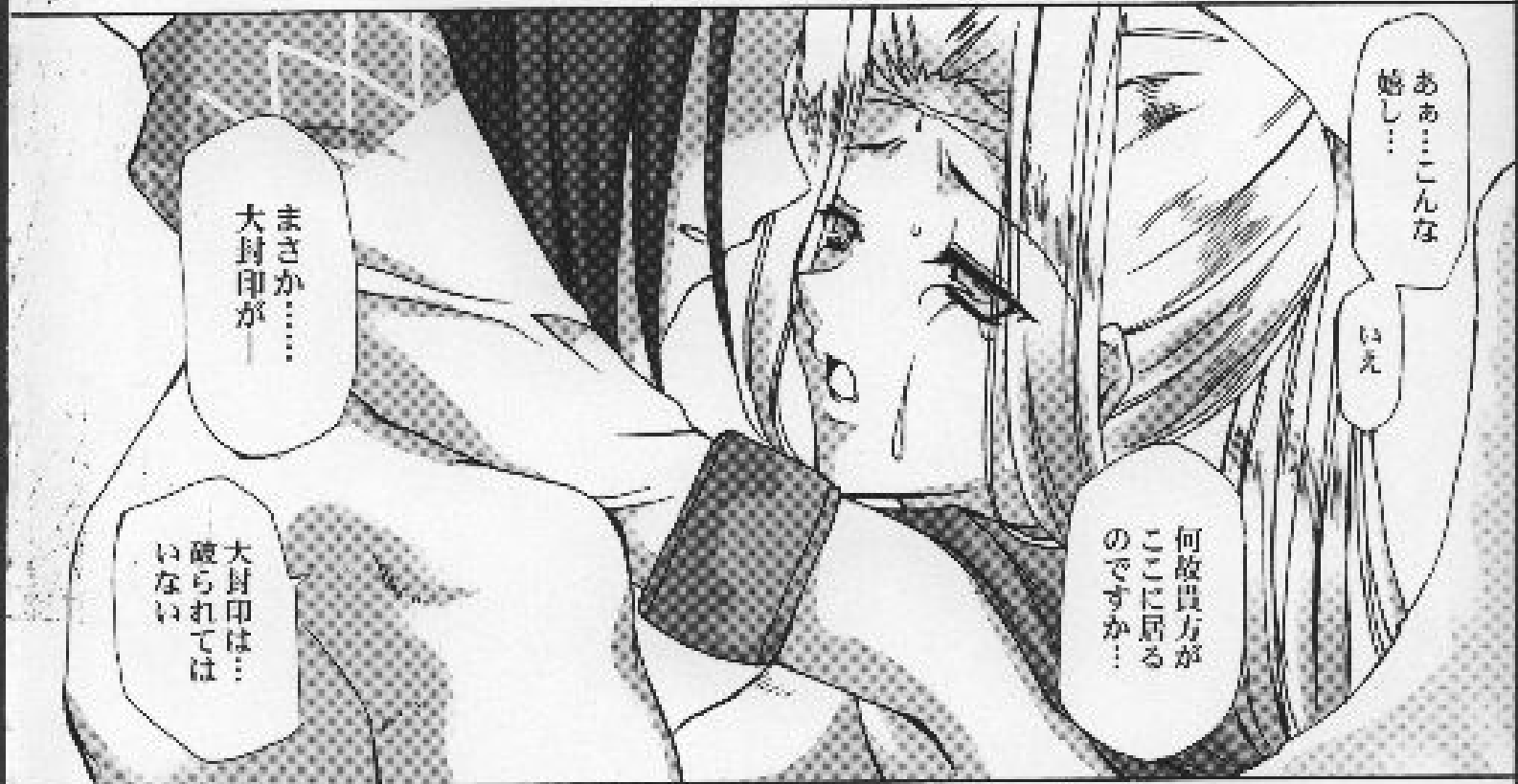
ガア



間違っ  
はすがない

でも…  
そんなことは

こんなことが…



ああ……こんな  
嬉しい……

いえ

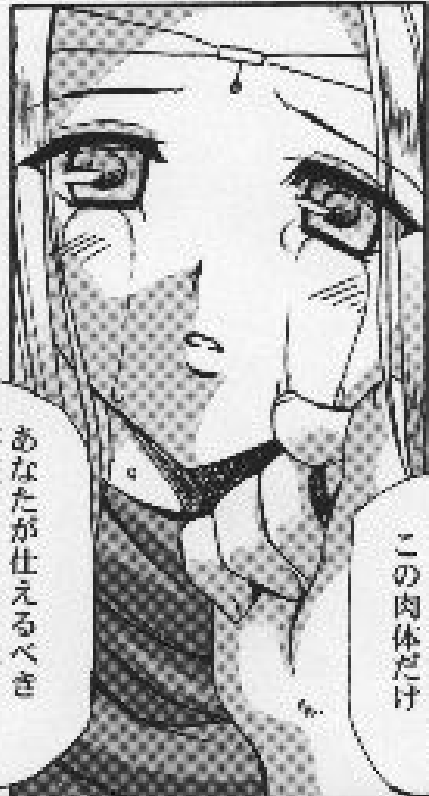
何故貴方が  
ここに居る  
のですか……

まさか……  
大封印が……

大封印は……  
破られては  
いない

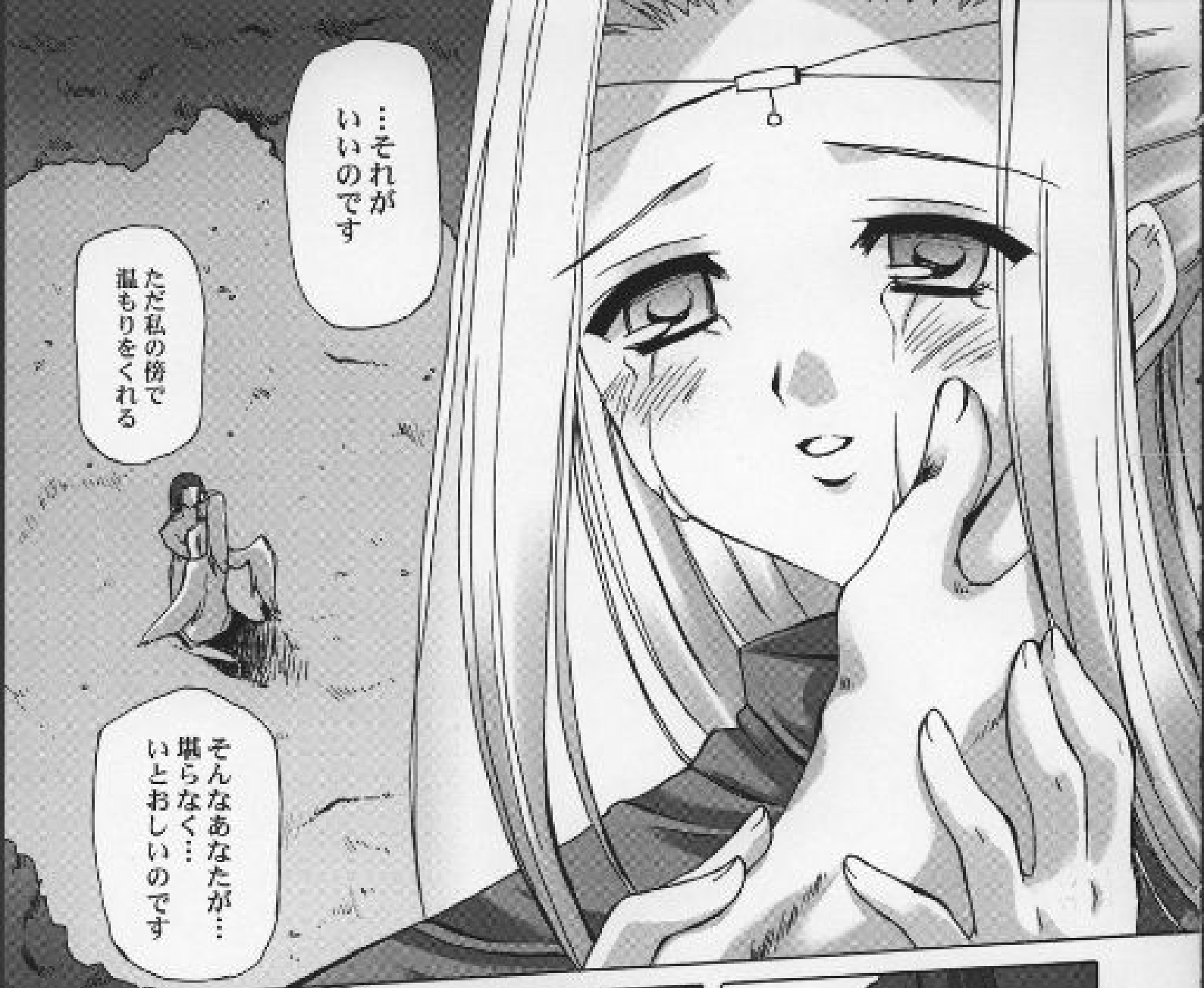


あなたが仕えるべき  
存在のような力は  
もう……私にはないんだ



私という精神と  
この肉体だけ

封印の小さな  
隙間を抜け出る  
ことができた……  
ここに居るのは



…それが  
いいのです

ただ私の傍で  
温もりをくれる

そんなあなたが…  
堪らなく…  
いとおしいのです



ウルト  
…契りを結ぼう

そして—  
私達が生きている



零れ落ちるその微笑み

広がる波紋

世界を彩る

BRAND NEW COLOR

BRAND NEW COLOR

発行 クローバー会  
発行日 2002.11.4  
印刷 ポプルス様  
mail amayan@nyc.odn.ne.jp  
URL <http://www1.odn.ne.jp/clover/>

複写・無断転載・WEB上での公開・18歳未満の購読を固く禁じます

